

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	48	沖縄平和啓発(継承)プロモーション事業	新沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所(第4章)	4-(1)-1-①			
				平和学習の推進及び次世代への継承			
担当部課名	知事公室 平和・地域外交推進課	事業実施(予定)年度	R1~R13	年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-7	
事業内容	①県内外の児童・生徒等を対象としたワークショップの開催、成果展の実施 ②首都圏でのシンポジウム開催、新聞等での啓発広告 ③米国施政権下の沖縄に関する証言映像(20名)の収録・編集及びWEB公開と教材活用開始((Blu-ray貸出) ④沖縄、アジア4カ国・地域の若者の共同学習・シンポジウム・事前事後研修の開催 ⑤沖縄戦の語り継ぎ手養成講座の開催【箇所新規】						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(令和7年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】		R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	R5年度(繰越)	R6年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	63,995		62,621		72,240
		(b) 予算現額	63,995		62,621		72,240
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 前年度繰越額	0				0
		A. 計(b+d)	63,995	0	62,621	0	72,240
	執行額	B. 執行済額	55,903		57,921		68,461
		うち交付金充当額	44,722		46,336		54,769
		C. 次年度繰越額	0		0	0	0
		執行率(%) (B/A)	87.4%		92.5%		94.8%
	予算の状況の説明	<input checked="" type="checkbox"/> 執行率は94.8%であり、主に委託費の執行残(入札執行残)が発生したことによる。					
活動目標(指標)及び進捗状況	R6活動目標(指標)		進捗状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	①ワークショップを県内6回、県外3回開催	目標	9回(県内6回、県外3回)	9回(県内6回、県外3回)	9回(県内6回、県外3回)	9回(県内6回、県外3回)	
		実績	9回(県内7回、県外2回)	10回(県内5回、県外5回)	13回(県内9回、県外4回)	10回(県内7回、県外3回)	
	②シンポジウムを首都圏で1回開催	目標	1回	1回	1回	1回	
		実績	1回	1回	1回	1回	
	③年度内に20名の証言映像を収録・編集及びWEB公開し、効果を検証	目標	-	-	20名分	-	
		実績	-	-	20名分	-	
	④沖縄、広島、長崎、韓国、台湾、ベトナム、カンボジアの若者たちの共同学習・シンポジウム・事前事後研修を開催	目標	7カ国地域、7日間	7カ国地域、7日間	7カ国地域、7日間	7カ国地域、7日間	
		実績	7カ国地域、7日間	7カ国地域、7日間	7カ国地域、7日間	7カ国地域、7日間	
⑤沖縄戦語り継ぎ手を養成するための講座を実施	目標	-	-	-	1回		
	実績	-	-	-	1回		
進捗状況説明	①ワークショップについては、県内で7回、県外で3回開催し、目標を達成した。 ②シンポジウムについては、予定通り首都圏(神奈川県)で開催し、参加者に平和について考えて貰う機会を提供し、目標を達成した。 ③これまで、証言映像を収録してきたが、近年、県内外の教育機関等より、沖縄戦の全体像が分かる学習用の動画のニーズが高まっていたことから、令和6年度は、当初計画していた証言映像収録を取りやめ、沖縄戦学習動画「礎が紡ぐ沖縄戦の記憶」を制作し、WEB公開した。 ④共同学習において、沖縄、広島、長崎、カンボジア、韓国、台湾、ベトナムの7地域の若者を集め、共同学習とシンポジウムを開催し、目標を達成した。 ⑤予定通り9月から12月の期間で沖縄戦語り継ぎ手養成講座を実施し、目標を達成した。						

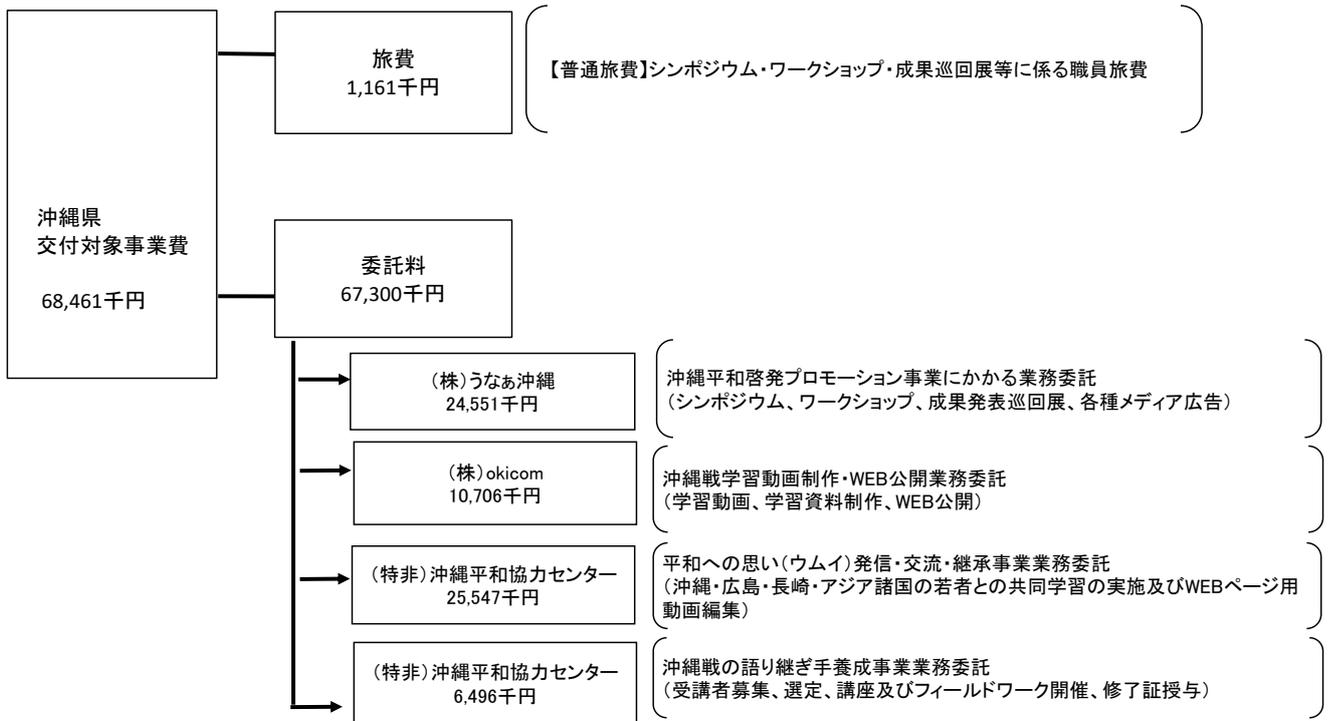
R6成果目標(指標)		基準値	R4年度	R5年度	R6年度	目標値
		(〇〇年度)				(〇〇年度)
①ワークショップでのアンケートで「平和への理解がより深まった」が70%以上	目標		70%	70%	70%	
	実績		98%	98%	98%	
②シンポジウムアンケートで「平和への理解がより深まった」70%以上	目標		70%	70%	70%	
	実績		87%	91%	88%	
③-1WEB公開と教材活用(Blu-ray貸出)開始	目標	-	20名分公開 Blu-ray貸出開始	20名分公開 DVD-R貸出開始	-	
	実績	-	20名分公開 Blu-ray貸出開始	20名分公開 DVD-R貸出開始	-	
【R7成果目標】 ③-2WEB公開された証言映像(多言語字幕付き)の再生回数のべ1,000回	目標					延べ 1,000回
	実績					延べ 1,000回
④-1共同学習参加者累計	目標	-	123名	158名	186名	
	実績	-	123名	158名	193名	
④-2共同学習参加者アンケートで「平和構築に関する意識が高まった」70%以上	目標	-	70%	70%	70%	
	実績	-	94%	91%	100%	
⑤沖縄戦の語り継ぎ手養成講座修了者	目標	-	-	-	40名	
	実績	-	-	-	40名	
達成状況説明	<p>①ワークショップにおいて、「平和への理解が深まった(目標70%以上)」をアンケートで検証し、理解が深まったと回答した者が98%となり、目標を達成した。</p> <p>②シンポジウムにおいて、「平和への理解が深まった(目標70%以上)」をアンケートで検証し、理解が深まったと回答した者が88%となり、目標を達成した。</p> <p>③-1、2 これまで、証言映像を収録してきたが、近年、県内外の教育機関等より、沖縄戦の全体像が分かる学習用の動画のニーズが高まっていたことから、当初計画していた証言映像収録を取りやめ、沖縄戦学習動画「礎が紡ぐ沖縄戦の記憶」を制作し、WEB公開した。</p> <p>④共同学習において、参加者累計が193名となり各国・各地域の多くの若者が共に平和について学習することができ、目標を達成した。</p> <p>⑤沖縄戦語り継ぎ手養成講座を開催し、40名の修了生を輩出でき、目標を達成した。</p>					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>①世界の様々な地域に紛争の火種が見え隠れする現状において、県内のみならず、国内や海外でも平和への意識が高まったものと推測される。</p> <p>②戦争体験だけでなく沖縄戦に続く苦難や戦後の混乱、復興に向かう人々の足跡と記憶の継承も証言者の高齢化等により困難になりつつあり、証言映像の記録は喫緊の課題である。今後、開発・Web公開した沖縄戦学習用の教材(映像)について、普及に取り組む必要がある。</p> <p>③ワークショップ希望校、シンポジウムの集客及びワークショップやシンポジウムにおいて沖縄戦の実相や歴史的教訓を次世代へ伝える活動を担う「ぴーすふるメッセンジャー」の応募者の継続的な確保が課題である。</p> <p>④R1年度から実施している本事業に参加した若者同士が関わり合える、ネットワークを強化する必要がある。</p>	<p>①沖縄戦から現代至るまでの繋がりや、現在の生活および今の沖縄が過去の歴史的教訓の上にあることへの理解を深め、平和を希求する「沖縄のこころ」を継承していくための工夫を今後も継続していく必要がある。</p> <p>②共同学習を通して、アジア諸国と沖縄・広島・長崎の若者が共に学び、理解し合うことで多面的に繋がり、交流を深め、協力関係を築くことができた。今後も継続して沖縄と国内及びアジア諸国の若者との協力関係を築くことで、日本とアジア諸国の架け橋になることが必要となる。</p> <p>③共同学習で得られた成果を県民に還元し、多様な視点から平和について考える機会を提供する必要がある。</p>

今後の取り組み方針
<p>①児童生徒を対象としたワークショップの実施やフィールドワーク、県外シンポジウムの開催、などを通じて歴史的教訓の継承に引き続き取り組む。</p> <p>②戦争体験者を始め戦後沖縄の諸相を知る証言者も高齢化し、当時の記憶の継承が課題となっているため、戦争体験者を始め戦後沖縄の諸相を知る方々の証言を収録・編集し、WEB公開を行う。</p> <p>③アジアの若者による共同学習で得られた成果を県民に還元できるよう、過去に本事業へ参加した若者がオンライン参加できる機会を設定し若者による平和構築のネットワーク強化を図る。</p> <p>④沖縄戦の語り継ぎ手養成講座では、来年度から前年度修了生にフォローアップ研修を行う。</p>

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額				交付対象外経費
		うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	
68,461	68,461	54,769	13,692	0	0	0



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、一般競争入札又は公募型プロポーザル方式により体制、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。 ○費目・使途については、事業報告書等进行检查し、適正である事を確認した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	